

設計内容に関する質問回答書

回答期限	5月23日	入札日	5月29日	台帳番号	7-332
------	-------	-----	-------	------	-------

担当課	都市計画課	件 名	令和7年度 茅野市公共施設鉄筋コンクリート構造躯体劣化調査委託業務		施行場所	茅野市内一円	
質 問 事 項				回 答 事 項			
受付日	質 問 内 容			回答日	回 答 内 容		
5月21日	1. 履行期間について			5月22日	1. 履行期間について		
	1-1. アスベスト含有調査を事前に実施しての劣化度調査となりますため、 履行期間が厳しいように存じますが、必要に応じての業務期間の延長 もご相談させて頂けますでしょうか。				1-1. 受託者と協議します。		
	2. 業務内容について				2. 業務内容について		
	2-1. 調査対象の15棟の既存図面について、設計図書（意匠、構造、設備） 一式揃っている認識でよろしいでしょうか。				2-1. 議会棟の構造図以外は揃っています。		
	2-2. 借用の既存図面は、正本されている形でしょうか。				2-2. 製本されています。		
	2-3. 既存図面は、PDFやJWW等データでありますでしょうか。				2-3. PDF、CADデータはありません。		
	3. アスベスト含有調査について				3. アスベスト含有調査について		
	3-1. アスベスト含有建材調査については、有資格者によるアスベスト調査 が義務付けられているかと存じますが、調査実施者は一般建築物 石綿含有建材調査者でよろしいでしょうか。				3-1. 一般建築物石綿含有建材調査者とします。		
	3-2. アスベスト含有調査については、建材の分析調査を実施することを 前提としますでしょうか。また、試料採取が困難な場合には設計図書等 による書面調査、目視調査の結果をもとに、石綿含有みなしと取り扱う ことでもよいでしょうか。				3-2. コンクリートコアの屋外側と室内側の仕上げ材を調査対象とし ています。また、調査個所は協議します。		
	3-3. アスベスト含有懸念建材の資料採取は、カッターナイフ、ドライバー、 ペンチ、スクレーパー、ハンマー等を用いた手作業で採取できる程度 の想定でよろしいでしょうか。また、手作業での採取が困難な場合には、 前述の石綿含有みなしとして取り扱いでよろしいでしょうか。				3-3. 採取方法はお見込みのとおりです。採取個所は受託者と協議 します。		
	3-4. 資料採取後の補修は樹脂モルタル等を用いた簡易補修でよろしい でしょうか。				3-4. お見込みのとおりです。		

3-5. 鉄筋腐食度によるはつり箇所/棟、コンクリートコア調査3箇所/棟はアスベスト含有調査を実施した仕上材と一致する部分の想定でよろしいでしょうか。また、仕上材が異なる場合は、アスベスト含有調査追加実施必要となる可能性有りますが、必要に応じて増工等費用のご相談をさせて頂ける認識でよろしいでしょうか。 4. 現地調査について 4-1. 内訳書に記載の鉄筋腐食度調査、コア採取時の仮設養生については、アスベスト含有建材レベル3の想定で、①除去部分の周辺を事前に養生②除去する部分を薬液等により湿潤化することを想定している認識でよろしいでしょうか。また、前記の対処について詳しい仕様の指定有無、関係法令上問題ないかも合わせてご検討頂ければと存じます。 4-2. 前記①②の措置が困難な場合や、レベル1、レベル2のアスベスト含有建材に対して除去が必要な場合には、特定建築材料の除去等の方法が必要であったり、囲い込み又は封じ込め等の必要性、撤去処分費について内訳書の内容以上の措置が必要となる可能性があります。また、はつり工事については仕上塗材の粉塵飛散も懸念されます。必要に応じて増工等費用のご相談をさせて頂ける認識でよろしいでしょうか。 4-3. 内訳書のコンクリート研りの範囲は、内訳書500mm×500mm角ですが、7 業務内容に記載の200mm四角程度の範囲を想定してよろしいでしょうか。 4-4. 鉄筋腐食度調査及びコア調査の復旧に際しまして、既存仕上材に併せての復旧と記載がございますが、仕上材の種類や工法也多岐にわたることが想定されます。同等材料、同等性能、同等色での復旧は困難かと存じます。意匠上可能な限り目立たない場所での研り、コア採取を実施し、基本的には無収縮モルタル充填による復旧のみとし、必要に応じて復旧箇所の既存に併せた色調での着色を実施する程度でよろしいでしょうか。	3-5. 鉄筋腐食度によるはつり箇所の仕上げは、アスベスト含有調査を実施する仕上材の想定としてください。調査箇所が増える場合には協議に応じます。 4. 現地調査について 4-1. アスベスト含有建材レベル3を想定しておりますので、質問のと通りの飛散防止措置で問題ありません。 4-2. レベル1はありません。レベル2は極力避けて調査箇所を選定します。 4-3. 200mm四方形程度とします。 4-4. 調査箇所につきましては意匠上、極力支章の無い箇所を選定しますが、原則、無収縮モルタル充填により復旧したうえ、復旧箇所の既存に併せた色調での着色を実施してください。
---	---

